

2024 秋号
vol. 136
広報誌

躍進

やくしん

題字：前理事長 嶋田 國重

特集

- MRI装置 最新AI技術導入のおしらせ
- 救急医療功労者厚生労働大臣賞受賞





Hospital Chairman

感謝

会長

最田昇一郎

冒頭に能登地方におきましては、今年の元日の震災に続き9月にも大雨による甚大な被害が発生し、被害に遭われた方々に対しましてかける言葉を見つけることができませんが、心よりお見舞い申し上げたいと思います。

今年の猛暑は例年になく厳しいもので、9月の終わりまで30度をこす日が続き、熱中症で救急搬入される方も例年以上に多く見られました。高齢化社会が進むに連れ救急搬入される方々は年々増えてきていますが、この度、私は、救急医療における功績が認められるとのことで、厚生労働大臣表彰を受けさせていただきました。もちろんこれは私個人によるものではなく、病院関係者全員、及び、救急隊員を始めとした関係機関の皆様、そして私達を信頼し受診していただいた地域住民の方々のお陰であり、皆様とともにこの受賞を喜びたいと思っています。

嶋田病院は昭和37年にこの小郡の地に開業して以来、創始者、嶋田國重先生の「救急医療は病院の使命」との考えのもと、「24時間、365日診療体制」を築き続け、「困った人がいればまず手を差しのべる」をモットーとして地域医療に向き合ってきました。さらには創始者の「社会がいかになら変わろうとも医療にかせられた使命は変わらない」という教えがありますが、まさに高齢化社会となり、医療には従来の「治す」だけでなく「支える」ことも求められる時代となりました。嶋田病院では今年度より従来の「地域連携室」を「地域医療ケアサポートセンター」と名称を変更するとともに、高齢化することによって身体機能が低下し、これからの生活、療養について不安を持っておられる方々やその家族の方々に適切な助言や支援ができる体制を作りました。これからの時代は、通院が困難な方も「入院」をするのではなく、医療者が在宅へ行き、住民の方々はできる限り自分が住み慣れた場所で暮らすことができる在宅医療の範囲が広がる時代にならなければならないと考えています。高齢者の救急に対応する病院には疾病の対応だけでなく治療後の療養についても支援できる体制作りをすることが重要となります。嶋田病院はこれからも時代の変化とともに常に地域住民の方々の要望に応えていける病院を目指していきます。

令和6年10月

身近なリスク・見逃さず知ろう 腹腔鏡で行う治療術



たんのう 腹腔鏡下胆嚢摘出術



腹腔鏡下胆嚢摘出術は、胆石症や胆嚢炎の治療として広く行われる手術方法です。この手術では、腹部に小さな切開を3～4カ所行い、そこから腹腔鏡というカメラと特殊な器具を挿入して胆嚢を摘出します。手術は全身麻酔下で行われ、術後の痛みが少なく、回復が早いのが特徴です。一般的には、術後4～7日で退院できることが多いです。

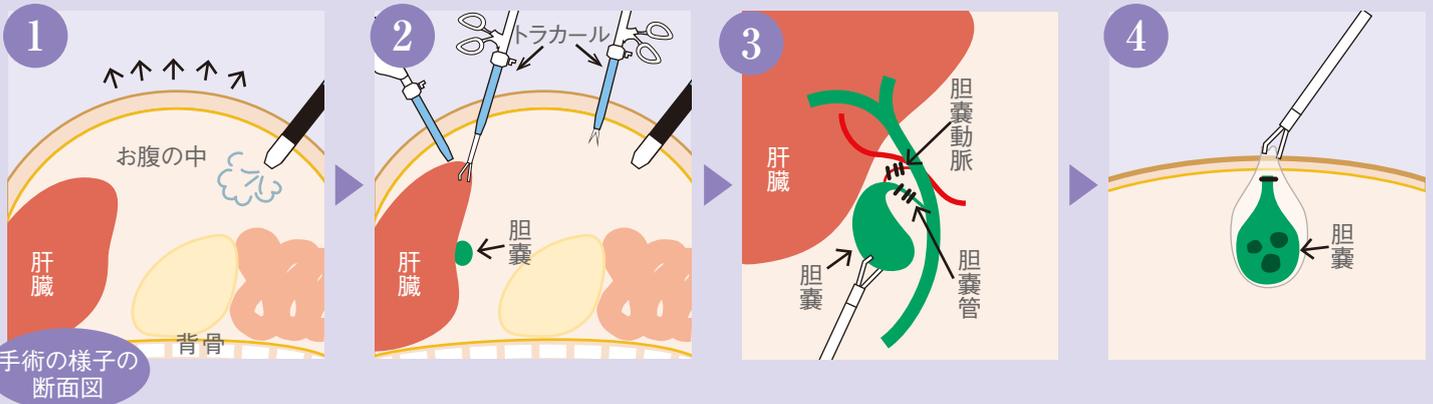
腹腔鏡下胆嚢摘出術のメリットは、従来の開腹手術と比べて傷が小さく、回復が早い点にあります。さらに、胆嚢を摘出することで胆石の再発を防ぐことができます。術後は軽度の消化不良を感じる可能性があるものの、胆嚢を失うことで日常生活に大きな支障が出ることはほとんどありません。

ただし、胆嚢の炎症が重度であったり、胆嚢と周囲の臓器との癒着が強い場合には、腹腔鏡手術から開腹手術に切り替えることもあります。総じて、腹腔鏡下胆嚢摘出術は、身体への負担が少なく、安全で効果的な治療法として多くの患者に提供されています。

消化器外科 井上 諭(いのうえ さとし) 医師 **専門分野** 消化器外科・腹腔鏡手術・化学療法

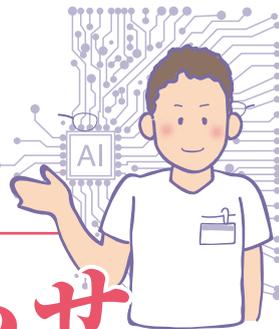
所属学会 日本外科学会 / 日本消化器外科学会 / 日本内視鏡外科学会

治療方法



- 1 炭酸ガスを注入してお腹を膨らませます。
- 2 トラカールと呼ばれる手術器具を挿入し、手術を行います。
- 3 胆のう管と胆のう動脈をクリップで止め切断します。
- 4 胆のうを取り出します。

注意 腹腔鏡下胆嚢摘出術はすべての症例に適用可能なわけではなく、病変の性質や位置、患者の状態などを考慮して適切な治療方法を選択する必要があります。必ず専門医と相談して、最適な治療方法を決定するようにしましょう。



MRI 装置

最新 AI 技術導入のおしらせ

— 当院 MRI 装置はバージョンアップによって、最新の AI（人工知能）技術を搭載 —
これまでよりもさらに画質を向上させ、かつ高速に撮影することが可能となります。

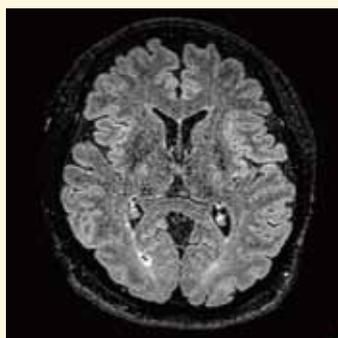
これまで MRI の撮影時間と画質は基本的にトレードオフの関係（時間を掛けて撮影するほど画質が向上する）にありました。

しかし、今回導入した AI 技術はその常識を覆します。

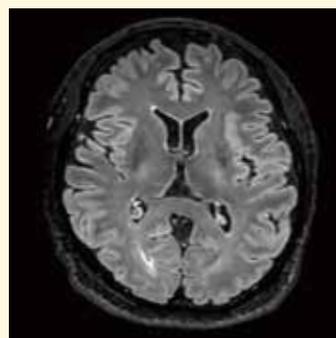
特徴

- 従来困難であった **高画質と短時間撮影** の両立を実現する新しい技術
- AI 技術により **画像のノイズ** を効果的に除去し、**鮮明で詳細な画像** を提供

頭部 3D-FLAIR 画像 どちらの画像も同じ撮影時間（2分 35 秒）で撮影した画像です。



オリジナル画像



AI によるノイズ除去画像

上図はオリジナル画像のノイズを AI が除去して高画質化しています。

- 頭部 MRI の撮影時間

従来の撮影方法 約 **14** 分



AI 導入後の撮影 約 **6 分 30** 秒

55% 時間を短縮！！

撮影方法にも依存しますが、最大 **66%** 短縮されます。

多くの患者さんが抱えていた『MRI 検査は撮影時間が長くて辛い…』という MRI の良くないイメージは、この最新 AI 技術により大きく改善していくと考えられます。

MRI 検査は被爆がなく安全であり、微小な脳実質の病変だけでなく、微細な血管の状態を観察することができます。

今後起こりうる脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）をはじめとする病変発生の可能性を把握し、**早期発見・早期治療** となります。

救急医療功労者厚生労働大臣賞受賞



9月9日(月)救急の日に都道府県会館(東京都)で行われた厚生労働大臣賞授賞式にて、当法人会長の島田昇二郎会長が救急医療功労者として表彰されました。

この賞は特に救急医療に貢献した人物・団体に表彰されるもので今回は全国24名及び2団体11医療機関が受賞しました。創設者の嶋田國重先生が遺した「病気に益も正月も無い」という想いを実践し続け、今では年間2,800台(2023年度)を超える救急搬入を受入れています。

この受賞に満足することなく、今後も命に関わる重大な病気の方を一人でも多く救命できるように、職員一同、気持ちを改めて業務を行って参ります。

地域健康活動のご案内

大刀洗町ドリームまつり



日時 **11月9日(土)** 10:00～16:00

大刀洗町役場で行われる年に1回の催しに参加させていただきます。

今年度は健康相談や理学療法士による身体チェック、ステージ上での健康体操を行う予定です。

地域に密着した催しですので、ぜひお時間がある方は遊びに来てください!

くすのき会 ウォークラリー



要予約

日時 **11月10日(日)** 9:00～12:00

今年度も「くすのき会ウォークラリー」を開催します!

くすのき会とは、糖尿病患者さんのための会です。病気と前向きに向き合い、発症と進行を一緒に防いでいきたいという想いから設立しています。年に1回、ウォークラリーを行い当院近辺をウォーキングします。

ぜひ、ご興味のある方はお近くのスタッフにご相談ください!

シマダのチカラ

「シマダのチカラ」では嶋田病院を支えるスタッフを紹介していきます。

第26回

情報システム部 システムエンジニア
本間 翼さんにインタビューしました。



Profile

本間 翼さん
(ほんま つばさ)

出身地 埼玉県

勤務年数 11年目

趣味・特技・休日にしていること
読書、映画鑑賞、写真撮影、ゲーム

なぜこの職業に就こうと思ったのか教えてください。

元々、パソコンに興味があり某新聞社のシステム管理部を経て、電子カルテを作る会社(ベンチャー企業)で一から電子カルテを開発していました。

様々な病院に訪問し電子カルテを導入する上で、病院の中のシステムエンジニア職があることを知り導入してきた病院のように未永くフォローできる環境で自分の能力を活かしたいと考え転職いたしました。

今まで働いてきた中でこれだけは忘れられない！というエピソードがあれば教えてください。

約5年前に更新した電子カルテ更新についてです。今まで使ってきた電子カルテを乗り換えて、新電子カルテに乗り換えるというのは、非常に勇気がいる提案でしたが、職員の皆が一丸となって前向きに電子カルテの更新作業を行ってくれたことやこの提案を支えてくれた経営陣の皆様には、いまでも感謝しています。

今後の目標を教えてください。

現在はIT技術の進歩と人材不足で「DX」というデジタルによる運用改革が叫ばれる時代です。

マイナンバーによる受診・電子処方箋等は患者さんにも直結する話ですが、それ以外にも大小さまざまなシステム更新を行う必要があります。その波に負けないように乗り越えていきたいと思っています。

専門外来のご案内

摂食・嚥下外来

嚥下とは?
…飲み込むことをいいます。



以下の症状がある方は受診をご検討ください。

対象

食事中によくむせる

痰がよく出るようになった



飲み込みが悪く感じる

誤嚥性肺炎をよく起こす

神経内科医師と言語聴覚師が同席の上、診察します。主に以下の検査を行い、嚥下状態を評価します。

嚥下内視鏡検査

内視鏡で喉の状態を観察して衛生状態や問題がないか確認します。
実際に食べ物を食べて頂き喉の動きを見ることがあります。



嚥下造影検査

造影剤入りの食材を食べて頂き喉の動きや食べ物の流れを見る検査です。



診察・検査

治療

症状に合わせたお薬の治療や嚥下リハビリを行います。安全に口から食事を食べることを支援します。

診察日

毎週月曜日(午前) ※診察には予約(紹介状)が必要です。ご希望の方はお電話でご予約頂くか受付までお声かけ下さい。

予防するため早期発見・早期治療(嚥下リハビリ)が大切です。



担当医師

藤野 泰祐 副院長

専門分野

神経内科・脳血管内科



今回のテーマ



「家族として何ができるの？」



吉永 敬士 (よしなが けいじ) 医師 | 担当科 緩和ケア / 外科

家族として「1日も長く生きてほしい。」そう願うことは悪いことでしょうか？誰も「悪い」と言う方はいないと思います。でも大切な方が病気になりその病気で亡くなることが避けられなくなった時、状況は変わってしまいます。多くの病では亡くなる日が近づくにつれ、体力・気力が落ちて苦痛や疼痛が増してきます。

3分間息を止めた後って息苦しいですよ。人によってはきつすぎて3分息を止められないことも多いと思います。でも、その苦しさが1日中になってしまったらどうでしょう？あなたの大切な方がそのようになってしまったら、「1日も長く生きてほしい」は「1日も長く苦しんでほしい」になってしまいます。そんなお姿を見続けることは、大きな苦痛/苦悩を伴うことになってしまいます。

大切な方が病で亡くなることが避けられなくなった時に、考え方を考えていかざるを得ないことになるのですが、どのように考えたらよいのでしょうか？「早く楽になってほしい」では困りますね。でも、楽に過ごすための緩和ケアがあることを知っておくことはとても大事です。限られたお命の期間、大切な方と一緒に過ごせてよかったと思えるようにするにはどうしてあげたらいいかを考えましょう。決して病気や症状のお話ばかりをすることは、望まれていないはず。家族でよかったと思えるような思い出が

あるととってもいいですね。互いを思いやる気持ちや、一緒に過ごせたことに感謝する気持ちが一番大切だと思います。

症状/体調のことばかり話していませんか？

体調の話ばかりをするとご本人・ご家族は会話の度に病気と向き合わなくてはならなくなります。

24時間病気と向き合ってつらいですよね？

ご家族のお体が心配になるお気持ちはわかりますが、ご家族がその話を望まれているか考えてみましょう。

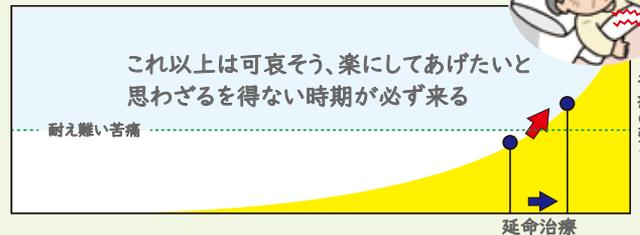
もっと日常会話的なお話をすることを望まれているかもしれません。

体のことばかり気にして…。
もっと他にも話したいことがあるのに…。



大丈夫？
痛くない？
苦しくない？
ご飯食べて！

最期が近づいた時期の延命



マンモグラフィ乳腺超音波検査キャンペーン

検査は全て**女性技師**で行います!!

申込期限: 2024年10月31日まで

マンモグラフィ乳腺超音波検査

通常価格 7,700円(税込) ▶ **6,600円**(税込)

マンモグラフィ単独検査

通常価格 4,400円(税込) ▶ **3,850円**(税込)

ご予約方法

健診センター「アクア」

※AQUA

1. ネット予約 (24時間受付可)

嶋田病院 人間ドック 🔍 検索



2. 電話予約 (日・祝除く 9~17時の間)

☎ 0942-72-2375

- ♥ 他コースと組み合わせて受診をして頂くことも可能です。
- ♥ 院内へ入られる際はマスクの着用をお願いします。

♥ 当日に空きがある場合は当日検査が可能です。

1 女性のがんで**1番**多いのが乳がんです
年間約9万人(2018年度)の女性が発症しています

2 乳がんは**2つ**の発症ピーク時があります
40~49歳、60~65歳までの女性の方が多く発症します

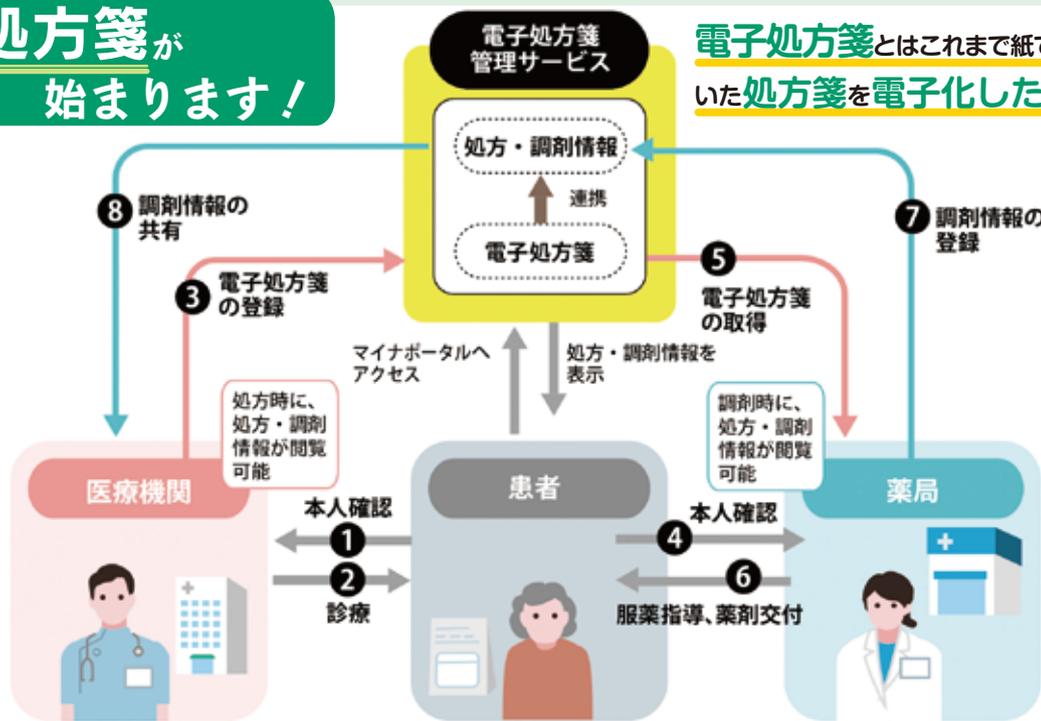
9 人に**1人**が乳がんを発症します

90%以上の方が治るがんです
早期(ステージI)の場合の、5年生存率は90%以上です

※がん情報サービス(<https://ganjoho.jp/public/index.html>)からの抜粋データに基づく

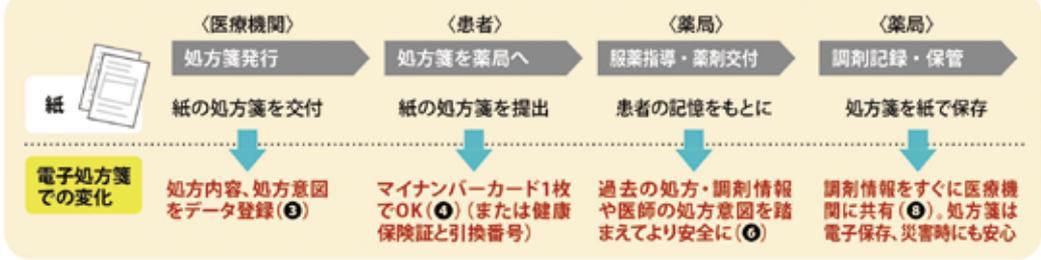
電子処方箋が 始まります！

電子処方箋とはこれまで紙で発行していた処方箋を電子化したものです。



導入による変化

導入前



導入後

出典: 広報誌「厚生労働」2023年9月号 発行: 株式会社日本医療企画

学術活動 [学会発表] 令和6年7月

日付	2024年7月14日
所属	リハビリテーション部
発表者	野崎 潤一郎・中村 理沙 坂本 大歩
演題名	第33回福岡県理学療法士学会

日付	2024年7月17日～7月18日
所属	診療部
発表者	草場 裕之
演題名	第79回日本消化器外科学会総会

日付	2024年7月19日～7月21日
所属	診療部
発表者	赤司 朋之
演題名	第11回JADEC年次学術集会

診療実績	2024年6月	2024年7月	2024年8月
新入院患者数	304人	322人	261人
救急車搬入数	231人	268人	291人
初診紹介数	496人	520人	475人
紹介率	60.7%	50.3%	58.2%
平均在院日数	9.3日	9.0日	10.3日

法人理念

医療、介護、全人的ケアを通じて地域とつながり、私たちがかわるすべての人たちが安心と満足と幸せを感じる組織であり続けます。

ビジョン

1. 私たちは、救急・急性期医療と専門医療、予防医学、介護とケア、地域との連携により、良質なサービスを切れ目なく提供します。
2. 私たちは、地域の方々が安心して自分らしく暮らしていけるよう、治し癒し支える社会を創ります。
3. 私たちは、かかわる人たちがすべてが満足と幸せを感じ、私たち自身も夢を持ち輝ける組織になります。



[医局長メッセージ]

暑い日がまだ続いています。秋の始まりはいつでしょうか。暦上では、立秋を過ぎてから(今年は8月7日)。気象学では9月から11月を秋と定義しており、天文学では昼と夜の長さが同じになる「秋分」からだそうです(今年は9月22日)。ちなみに今年の秋の気温は例年以上のようですので、過ごしやすい日は少ないようです。体調がすぐれない時にはかかりつけ医や嶋田病院まで受診ください。

先日40歳を迎えました。人生の四季で言うなら、夏と秋の間くらいでしょうか。「人生二度なし」、この言葉を胸に刻み充実した秋になるよう備えていきます。

[島田幸典]